

「是不是」構文からみる中国語のポライトネス表現

平, 静
九州大学大学院比較社会文化学府

<https://doi.org/10.15017/4494685>

出版情報：比較社会文化研究. 24, pp.75-80, 2008-09-30. 九州大学大学院比較社会文化研究科
バージョン：
権利関係：

「是不是」構文からみる中国語のポライトネス表現

ヘイ
平

セイ
静

1. 研究の目的

ポライトネス理論は、基本的に、相手を思いやり、配慮することによって、相手と良好な関係を築き、保つための言語行動の「普遍原理」を示そうとしたものである(宇佐美 2001)。中国語には日本語のような体系的な敬語形式が存在しないため、中国語のポライトネスの表し方は、「中国語の敬語の待遇的な意味効力はその表現の文字通りの意味内容を介して伝えられた会話の含意に属する意味内容である」(彭国躍、1993)。そのため、中国語のポライトネスを考察するためには、文法とその含意に着目して、考察を行なうことが最も有効だと考えられる。

私たちは日ごろから話し相手との関係によって、また相手の反応によって話し方を変えている。そこで、本研究は、分析資料としてインタビュー番組を、理論的枠組みとして世界の敬語研究に普遍的な原則を提示した Brown & Levinson のポライトネス理論を用いる。そして、中国人が「聞き手の領域」¹に踏み込む際によく用いる「是不是」構文が、より円満なコミュニケーションのために果たしている役割に焦点を当て、話し手が聞き手に言語的、心理的な点でどのような配慮をしているのかを考察していきたい。

2. Brown & Levinson のポライトネス理論を中国語に当てはめる

Brown & Levinson のポライトネス理論は、Goffman (1967) の面子行為理論に基づいてまとめられたものである。Goffman は、面子は社会の中で自分が得た正の社会価値であり、個人の自己表現であると論じる。Brown & Levinson は、この面子をポジティブ・フェイス(他人から賞賛、理解されたい)とネガティブ・フェイス(他人に邪魔されたくない、立ち入ってほしくない)の2種類に区分する。このフェイスを脅かさないように配慮して、円滑なコミュニケーションを維持していこうとする言語行動がポライトネスである。Brown & Levinson は、異なる社会で

は異なる敬語表現があるようにみえるが、実際には人類に普遍的な社会行動の原則があると述べる。彼らのポライトネス理論は、この普遍的な原則を提示しようとするものである。彼らの理論が「言語的ポライトネス(linguistic politeness)」と銘うちながらも、言語形式だけにとらわれず、人間関係、社会的・心理的距離、ある行為が相手にかかる負荷度など、複雑に絡み合う社会的諸要因を考慮に入れ、それらの相互作用の効果としての言語行動における「ポライトネス」を、より包括的に取り扱っている(宇佐美 2001)。そういうことで、彼らのポライトネス理論は、日本語のような体系的な敬語を有していない中国語のポライトネス研究に一つの新しい道を開いたといえるだろう。

日本語に敬語があることは疑う余地がないが、中国語ではポライトネスはどのような形で表現されているのかと疑問を持つ人が多い。中国語にも果たして敬語があるのだろうか、また、あるとすればどのようなものか。

近年、中国語の敬語についての研究も出ているが、「敬称」に重きを置いたものが多く、文法的にとらえようとする試みは少ない。確かに、中国語の敬語は文法的にとらえにくいものである。しかし、ここでは、中国人の会話によく用いられる「是不是」構文を中心に、Brown & Levinson のポライトネス理論を利用して、中国語におけるポライトネスの表し方を明らかにしたい。

Brown & Levinson (1987) によると、人が他人に要求やアドバイス、命令を出すということは、他人の領域に踏み込むことを意味する。「相手の私的領域」に踏み込む内容に言及する際、他人に不快感を与えないように配慮を行うことが一般的である。つまり、ネガティブ・ポライトネスは、対話する相手を持つ「他者から邪魔されたくない」というネガティブ・フェイスを最大限尊重し、また相手に負担を感じさせないようにするものであり、間接的な表現を使うことで消極的なフェイスへの配慮を表現する。つまり、ネガティブ・ポライトネスは、相手の精神的・物理的領域に侵入しないことを伝えるものである。(B&L 1987: 129)。

1 「聞き手の領域」には、聞き手の行動・聞き手に属する物や聞き手と近い関係にある人、情報など、聞き手にかかわる全てのことがらが含まれる。(鈴木1997: 58)

話し手の発言が、明らかに「聞き手の私的領域」に踏み込む際に、「是不是」は、相手のフェイスをつぶさず会話をスムーズに進行させるために、どのような役割を果たしているのだろうか。「是不是」の使用状態を検討し、中国語におけるポライトネスの表れ方を明らかにしたい。

3. データ収集

本研究では、中国語のインタビュー番組（朱軍が司会者とする『芸術人生』と楊瀾が司会者とする『楊瀾訪談』）から19人のインタビューを録音し、本論文の分析資料として使用する。

インタビュー番組の内容は、特別なテーマを強調するものではない。しかし、データを採集する際には、インタビューに出演するゲストの性別、年齢、社会的地位、司会者との親疎関係に偏りがでないようにした。

表1 調査対象者リスト

朱 (41歳) 楊 (38歳)	対話者	ゲスト の年齢	ゲスト の性別	社会的 地位	親しき
会話1	朱⇄常香玉	81	女	下→上	疎
会話2	朱⇄秦怡	80	女	下→上	疎
会話3	朱⇄王晓棠	70代	女	下→上	少し親
会話4	朱⇄丁建华 乔榛	60代	女、男	下→上	少し親
会話5	朱⇄翟俊杰	60代	男	下→上	疎
会話6	朱⇄余秋雨	59	男	下→上	疎
会話7	朱⇄张瑜 郭凯敏	50代	男女	下→上	疎
会話8	朱⇄田震	40代	女	=	疎
会話9	朱⇄崔永元	42	男	=	かなり親
会話10	朱⇄楊瀾 白岩松	37 37	女 男	=	かなり親
会話11	朱⇄李亚鹏	34	男	上→下	疎
会話12	朱⇄徐静蕾	31	女	上→下	疎
会話13	楊⇄田壮壮	53	男	=	疎
会話14	楊⇄何冀平	52	女	=	疎
会話15	楊⇄赵宝刚	50	男	=	疎
会話16	楊⇄何平	48	男	=	疎
会話17	楊⇄刘欢	40	男	=	疎
会話18	楊⇄赵薇	30	女	上→下	疎
会話19	楊⇄章子怡	26	女	上→下	疎

4. 考察

『東方中国語辞典』(2003:1192)によると、「是不是」構文は、動詞、副詞、動詞によって構成されており、述語と主語の前においても、文末においてもいい。「是不是」は、質問者が自分の予想を相手に確認するときに用いられる。他方で、『簡明漢日詞典』(1994)によれば、「是不是」は動詞であり、書き言葉「是否」の話し言葉用法、日本語の「…であるかどうか」に相当するという。しかし、『簡明漢日詞典』は、「是不是」構文を持つ言語機能には、一切言及していない。

収集したデータから分かるように、「是不是」構文は、人の気持ちや状況などを尋ねる時や推測する時、あるいは相手から自分の推定に肯定的な回答を求める時に、頻繁に用いられる。大切なのは言語の形式ではなく、使われる言葉遣いがどのような機能を持つか、なのである。つまり、話し手が持つ「他者から邪魔されたくない」というネガティブ・フェイスを最大限尊重するよう、相手に選択権を与える選択疑問文「是不是」を用いることで、相手の精神的・物理的領域に侵入しないことを伝える。(B&L 1987:129)。それゆえ、B&Lのネガティブ・ポライトネス観点を応用して、「是不是」構文を分析できると考えられる。

中国人は、相手のフェイスを脅かすことを避けるために、語調を和らげることに気を配る。また、何かを頼んだり、情報を要求したりする場合には、相手に負担を感じさせないように間接的な表現を使って断る余地を与えるように工夫する。

具体例を見てみよう。

A. 話し手が聞き手との関係が「親」である場合：

- (1) 崔：主持人曹可凡说他很想知道，他父亲离开他的时候心里怎么想的，我觉得因为我有这样的经历，我可能可以告诉他，一个抑郁症患者离开人世的时候，他是什么感觉？他特别快乐。
(曹可凡さん(別の司会者)は、お父さんが亡くなったとき、どんな気持ちで天国に行ったのかをととても知りたかったと言っていました。私は、こんな体験をしているので、それを彼に伝えてあげられるかもしれません。うつ病の患者は、この世を去っていくとき、どのような気持ちなのでしょう。実は、とても満ち足りているんです。) ²

朱：是不是因为他(曹可凡)你才这么说？

(あなたは、彼(曹可凡さん)のために、そのよ

2 日本語訳は筆者による。()の中は意識を、くくの中は逐語訳を示す。

うに言ったのでしょうか)

崔：不是，这个你可以去请教专业的医生……

(いいえ。このことは、専門医に聞けば分かると思います。)

(会話9)

例(1)の場合は、話し手が聞き手ととても親しい友人関係にあるため、ある程度相手の性格や考え方が分かっている。そのため、話し手は、相手が出した答えを意外であり、本音だと思わなかったため、否定の意見を出した。しかし、聞き手との関係がいくら親であっても、相手の病気や亡くなった方といった繊細な話題に言及しているため、「是不是」を使用することによって、相手に失礼にならないように断定的な態度を避け、相手の心を傷つけないようにしている。

(2) 朱：突然比别人强了一大块的时候，我估计周围会带来一些压力的，…，是不是会有那么一段？

(急に周りの人より立派になると、普通は周りからプレッシャーをかけられると思います。あなたにも、そんな時期があったのではないでしょうか?)

(会話3)

例(2)の場合、話し手は、聞き手との関係が親であっても、聞き手が自分より年齢や社会的地位が「上」であることを認識している。そのため、話し手は、相手の気持ちを推測したが、相手に敬意を表すために、自分の意見を曖昧にする「是不是」を使うことによって、相手の気持ちを勝手に決めつける態度を避け、相手のネガティブ・フェイスを維持している。

B. 話し手が聞き手との関係が「疎」である場合：

a. 相手の地位が「上」である場合

(3) 朱：在那时候大家门派观念那么强的时候，常老师的父亲应该说还是一个改革派、博采众家之长，加上他女儿自己的特点，终于形成了常派唱腔，现在是不是可以这样说？

(昔は、皆の流派の意識が強かったです。常先生のお父さんは、改革派だったと言えますね。彼は、皆の長所を吸収して、自分の娘の特徴と融合して、「常派」を創り出しました。今、このように言っても良かったですか。…言えるかどうか。)

常：可以。……

(はい、そうです。…)

(会話1)

例(3)では、話し手が、もう既に周知されたことを視聴者

に改めて紹介している。それにもかかわらず、その後「このように言っても良かったですか」という表現によって、自分の紹介に同意するか否定するかという選択肢を自分より年齢も地位も「上」の相手(常さん)に与えている。つまり、話し手は、自分の言い方が正しいかどうかという判断を下す権利を聞き手(常さん)に譲ることによって、相手に敬意を示しているのである。

b. 相手との地位が「同」である場合

(4) 趙：我当时苦闷的到天安门广场去坐着。

(当時、辛かったから、天安門広場に行って、そこに座り込んだことがよくあります。)

楊：为什么到天安门广场去坐着。

(それは、どうしてですか。)

趙：北京没有空地方。

(北京には、どこにも空いている所がないからです。)

楊：那儿也人来人往的，是不是觉得没人认识你或者知道你的这种感觉。

(あそこも人がいっぱいですよ。やはり、あそこには、あなたを知る人がいないか、あなたの気持ちを知る人がいないと考えたのではない。)

(会話15)

例(4)、話し手と聞き手との関係が「疎」である場合、話し手は、「是不是」のような婉曲的な表現の使用によって、聞き手との適切な距離を保つことが可能となる。さらに、聞き手に同感や同情を寄せると同時に、自分の意見を曖昧にする言葉を使って、「相手の領域」に勝手に入り込もうとしない意図を表している。また、聞き手からもっと詳しい情報の提供を期待し、会話の更なる進展を図っている。

(5) 楊：其实现在想想，那时候你自己的感知好像是不是超过了什么年龄的界限了？

(今考えてみたら、その時のあなたの考え方は、もうその当時の年齢を超えていたのではないでしょうか。)

(会話17)

例(5)の場合では、聞き手の状態や考え方について自分の判断を述べているが、「相手の私的領域」に踏み込む発言であるため、話し手が自分の意見を不確定化にする言葉である「好像」を利用している。さらに、ここで「是不是」構文を使用した効果は、「自分の意見を相手に確認してもらう」というものではなく、「語気を和らげる」ということになる。

(6) 楊：人要是没有顾忌的时候，我觉得最显著的就是你懒得和别人去解释。

(人は、何に対してもはばからなくなってしまうたら、誤解されても他人に釈明することさえもしなくなってしまうと思います。)

劉：对。

(そうです。)

楊：是吧。1991年那次，你被中央电视台封杀的那次，你那时候是不是也抱有这种心态？

(やはりそうでしょう。1991年に、中央テレビに辞めさせられた時、あなたはそう考えたでしょう。)

劉：对。

(はい、そうです。)

(会話17)

話し手の楊さんは、まず、人に誤解された時についての自分の考え方について、聞き手の同感を求める。それから、聞き手が自分と同じ考えを持っていることを確認したうえで、聞き手の状況に対する推測を行い、聞き手から肯定的な答えを期待している。

(7) 何：我们吃一顿包子，要从头一天开始包，包二三千个包子，包到第二天才算完，蒸都蒸不过来。而且哈萨克的那些骑兵吃得特别多。

(映画を撮影したとき、全員に肉まんを作って食べさせるために) 前日からずっと翌日まで、全部で2、3千個を作らなければなりません。騎兵たちが大食いですし、蒸すことさえ間に合わないほど多かったです。)

楊：你就心疼？你是不是在旁边数人家吃了多少包子？

(それでは、みんながあまりに沢山食べてしまうので、あなたは肉まんを惜しんで、隣でスタッフたちが何個ずつ食べたかを数えていたでしょう。)

(会話16)

例(7)の対話では、冗談が交わされている。一般に、ジョークが用いられる場合には、話し手と聞き手との間に共有の知識があることが前提となる。それゆえ、ジョークは、話し手と聞き手との価値の共有を強調するために効果的だといえるだろう。

中国語母語話者は、親しい人との間だけではなく、収集したデータから分かるように、あまり親しくない人との間でもジョークをよく用いる。話し手は、会話の場にユーモアに満ちた雰囲気を作り出し、会話をスムーズに進行させようと努めている。その上で、自分と聞き手との関係が「疎」

である場合、聞き手に不快感を与えないように、話し手はかなり気を遣っている。そのような場合、例(7)のように「是不是」を使うことによって、相手との適切な距離をとりながら、話を進めていく。また、「是不是」のような婉曲的な表現により、語調を和らげる効果もあると考えられる。この場合、「是不是」の機能は、「そうであるかどうか」という選択肢を聞き手に与える本来のものから逸脱して、「聞き手との距離を示す」役割を果たしている。

c. 相手の地位が「下」である場合

(8) 楊：你刚刚出名的时候参加记者招待会，…有的记者很不礼貌，说让你滚回去之类的话，你没有办法承受。当时觉得很委屈，是不是？

(あなたは、有名になったばかりのころ、ある記者会見に参加した時に、(中略)、ある記者がとても無礼で、彼に「出て行け」と言われたことがあったそうですね。そのときは、さぞ悔しい思いをさせたでしょう。)

趙：太委屈了！

(とても悔しかったです。)

(会話18)

(9) 楊：你觉得现在再去演一部电影，再阐述一个角色的时候，是不是会觉得自己的把握度就比过去大多了？

(今、新しい映画に出演して新しい役を演じるとしたら、昔の自分よりも、もっと自信を持っていると思うでしょう。)

(会話19)

中国語の中で、話し手は自分より年齢や地位が明らかに「下」である相手に対しては、まず、ある根拠に基づいて、率直に自分の意見を言うのが普通である。しかし、やはり話し手は、聞き手との「疎」である関係に気を配っているので、率直に自分の意見を言明してから、相手の意見も確認することで丁寧さを表現している。

今回の考察では、話し手と聞き手との関係が「疎」である場合と比較して、「親」である場合には、「是不是」構文の使用が観察された例の数が比較的になかった。あらたまった話題や相手のプライバシーに言及する時にだけ、「是不是」構文が使用されていることが確認できた。その理由として、相手との関係が「親」である場合、繊細な話題かどうかという「話題の内容」が、ポライトネス・ストラテジーの選択や使用に大きく左右しているためだと考えられる。

これに対して、対話者両方の関係が「疎」である場合、話題や社会的地位の上下にかかわらず、「是不是」構文の頻

繁な使用がみられ、ネガティブ・ストラテジーが広範囲にわたって用いられることが分かった。

このように、話し手が聞き手の考え方を尋ねる「是不是」構文は、B&Lのネガティブ・ポライトネス理論の中に位置づけることが可能であり、それは話し相手との親疎に関係なく広範囲にわたって用いられていることを明らかにした。それゆえ、「是不是」構文は、中国語のネガティブ・ポライトネスの実現に一定の役割を果たしているといえるだろう。

5. 結論

「是不是」構文を使用することで、話し手は、聞き手のことについて勧めたり判断したりする時に、自分の意見を強制的に押し付けている感じが出ないようにし、聞き手の意見を尊重している態度を示すことができる。また、「是不是」構文の使用は、発話者が何らかの根拠を元に、相手の状態を憶測したり、勝手に決めてかかるというような態度を避ける時にも効果的である。これまでの分析から以下の知見を得た。

第1に、話し手が「相手の私的領域」に踏み込む内容に言及する際には、「是不是」構文が広範囲にわたって用いられており、聞き手から自分の推定に肯定的な回答を求める傾向がある。「是不是」構文の使用によって、相手の状態を憶測したり、勝手に決めてかかるというような態度をできるだけ避け、相手のネガティブ・フェイスを維持することができる。

第2に、話し手と聞き手との関係が「親」の場合、あらたまった話題や相手のプライバシーなど繊細な話題に言及するときだけ、「是不是」構文が使用されている。

第3に、話し手は相手と関係が「疎」である場合、「是不是」のような婉曲的な表現によって、語気を和らげ、聞き手との適度な距離を保つことが可能となる。

第4に、話し手と聞き手との関係が「疎」であり、且つくだけた話題に言及する際、B&Lが提唱した相手との親密さを強調するポジティブ・ポライトネス・ストラテジーと、話し相手が持つ「他者から邪魔されたくない」というネガティブ・フェイスを最大限尊重するネガティブ・ポライトネス・ストラテジーが共存している。この知見は、中国人は聞き手との親密さを強調するために聞き手の私的領域に踏み込む発話が多いとする母(2005)の主張が不十分であることを示している。

参考文献

Brown, Penelope and Levinson (1987) Stephen C. Polite-

ness : Some universals in language usage, Cambridge University Press

彭国躍 (1999) 『近代中国語の敬語システム—「陰陽」文化認知モデル』 白帝社

母育新 (2001) 「待遇行動における日本人と中国人の比較—ポライトネスの視点からの考察」『麗澤大学紀要』第73巻

楊立明, 郭春貴, 孟広学 (2002) 『中国語で学ぶ中国文化基礎知識』 東方書店

張黎, 佐藤晴彦, 内田慶市 (1998) 『中国語表現のポイント99』 好文出版

北京语言学院編 (1994) 『簡明漢日詞典』 商務印書館

坂本俊生 (2001) 「現代社会関係と敬語の可能性」『月刊言語』11

相原茂, 荒川清秀, 大川完三郎 (2003) 『東方中国語辞典』 東方書店 北京商務印書館

宇佐美まゆみ (2001) 「ポライトネスから見た敬意表現」『月刊言語』11

宇佐美まゆみ (1997) 「ポライトネス理論の展開: ディスコース・ポライトネスという捉え方」東京外国語大学『日本語研究年報』、145-59

宇佐美まゆみ (2001) 「談話のポライトネス—ポライトネスの談話構造構想」第7回国語研究所シンポジウム 第4専門部会、9-54

蒲谷宏, 川口義一, 坂本恵 (1998) 『敬語表現』 大修館書店

蒲谷宏 (2006) 『大人の敬語コミュニケーション』 筑摩書房

生田少子 (1997) 「ポライトネスの理論」『月刊言語』5号

坂本俊生 (2001) 「現代社会関係と敬語の可能性」『月刊言語』11

泉子・K・ナイメード (1992) 『会話分析』 くろしお出版

鷹野由紀子 (2005) 『現代中国語の要求表現—その使い分けに関する考察』

関西大学「中国文学会紀要」第26号

Polite Expression in Chinese found in the “*Shi bu shi*” Sentence Structure

Jing PING

In this study which uses an interview program as a document for analysis, based on the politeness theory of Brown & Levinson, I assign a focus to the alternative question “*shi bu shi*” which Chinese use often. To achieve communication that Chinese find more harmonious, what kind of role does this alternative question play? In addition, I considered the kind of consideration a speaker give to the psychological view point of the listener.

I taped an interview program in Chinese for this study transcribed it, and used it as a document for analysis in this article.

When a speaker speaks content to step into “the personal domain of the partner”, the “*shi bu shi*” sentence structure is used over a wide area and tends to demand an affirmative answer concerning one’s estimate from a partner. When relations between a speaker and the partner mention the changed topic and privacy of the partner in the case of a parent, a “*shi bu shi*” sentence structure is used.